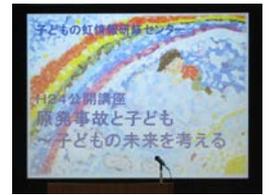


# Rainbow Times



## H24 年度公開講座「原発事故と子ども～子どもの未来を考える～」開催しました！ 12月1日(土)

東日本大震災以降、原発と放射能問題について様々な論議がなされるようになりました。この問題が、子どもにとって極めて重要であることは言うまでもありません。子どもの今と未来に与える影響について、身体への影響のみならず、心理・社会的側面も含めた幅広い視点から理解する必要があります。そこで、今年度は、原発事故に焦点をあて、子どもの視点から考える公開講座を開催しました。

### 第1部 「原発事故と福島の子どものたち～児童養護施設から考える」 講師：神戸 信行先生（児童養護施設 青葉学園 施設長）

青葉学園は福島県内にある児童養護施設です。震災以降、子どもたちを守り、育ちを支えてきた施設です。原発問題によって世帯が分離し、孤立した家族が不安に直面している等、家族の姿大きく変わった現状をお話くださいました。青葉学園では、今なおお出口の見えない課題の中で、入所している子どもたちの将来について、多くの心配を語られました。講演を通して、この問題は、福島県だけでなく、日本全体の課題であることを改めて痛感いたしました。なお、神戸先生の講演はDVDに収められています。貸出希望の方はセンターまでお問い合わせください。

### 第2部「原発事故と子どもの健康」 講師：黒部 信一先生（すずしろ診療所 小児科医）

黒部先生は、小児科医として診療だけでなく、「チェルノブイリ子ども基金」や「未来の福島こども基金」での活動を通して子どもたちへの支援を行われています。これまでのご経験、知見を踏まえ、放射能が子どもに与える影響について、具体的に率直なご講演をいただきました。今なお低線量被爆の問題など、日常の中で多くの不安を抱えながら生活している方がたくさんいます。講演の中では、子どもたちの保養の必要性などもお話ください、私たちができることも提示していただきました。



## 第6回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー開催しました！ 10月28日(日)

10月28日(日)、第6回たすきリレーを開催いたしました。当日は雨の心配の中、ゴールの時には幸運にも雨が上がり、ランナーが晴れやかにゴールテープをきることができました。

今年度も、湘南コース、都心コース、鎌倉・三浦・横須賀コースの3コースを設定しました。さらに、湘南コースには特別平塚コース、鎌倉コースには特別横須賀コースを設け、総勢479名のランナーがたすきをつなぎました。今年のゴール会場は、赤レンガ倉庫近くの新港中央広場。見通しのよい会場にオレンジのアーチやテントを張り、多くの方が来場してくださいました。

スタート地点の渋谷ハチ公広場、児童養護施設心泉学園、鎌倉高德院、中継地点の東京タワーをはじめ各中継所でも啓発活動を行いました。今年も様々な場所でボランティアの方が作ってくださったオレンジリボンを多くの方に届けることができました。

栃木県小山市、岐阜県、滋賀県で行われたたすきリレーにもたすきをつなぎ、この輪は全国に広がっています。子どもに明るい未来になるために、大人が手を取り力を合わせていくことが大事だと改めて心に誓いました。



詳しくはこちら！  
<http://www.orange-tasuki.org/>

## JaSPCAN 報告～高知りょうま大会～

12月7-8日、日本子ども虐待防止学会（JaSPCAN）高知りょうま大会が開催されました。今年の大会テーマは「いのちの重さをつめて～地域で支える親子の絆」でした。虐待対応だけでなく、妊娠期からの予防をテーマにした企画が多く盛り込まれていました。

センターでは情報の収集・発信の機会として毎年参加しています。今年もブース展示を行ったところ、パンフレットや研究報告書など、多くの方がお持ち帰りくださいました。また、分科会では「虐待対応における人材育成」「児童福祉施設における心理臨床」、研究発表では「子どもの虐待死を考える」をテーマに各報告を行いました。

来年は、長野信州大会、テーマは「One Child, One Life～安心して生きる、育つ～」です！



**H25 年度研修より申込方法が変わります！**  
Fax での申込から、インターネットによる申込になります

**2014 年 9 月、ISPCAN（国際虐待防止学会）名古屋大会が開催されます！**

⇒<http://www.ispcancongress2014.org/>  
パンフレットがダウンロードできます！